



ほほえみ

第290号

令和4.12.1発行

今月のテーマ

脳梗塞



脳梗塞とは

脳の血管が突然詰まって血流が途絶え、脳に血液が行き届かなくなることにより、脳の細胞が壊死して様々な障害が生じる病気です。

早期に適切な治療を受ける必要があります。

症状

前兆がある場合もありますが、一般的には突然発症します。どの血管が詰まるかによって症状は様々ですが、以下のような症状が出現する場合があります。

体の片側だけが動かせない
力が入らない

ろれつが回らない

物が二重に見える

体の片側だけが痺れる
感覚が鈍い

意識が朦朧とする

片側の目が見えにくくなる
視野の片側が欠ける

言葉が出てこない
他人の言うことが理解できない

左右どちらかにある物が見えているのに認識できない

ぐるぐる回るようなめまいが起こる
フラフラして上手に歩けない

日用品などの使い方がわからない

治療

治療法は大きく分けて2つあります。

- ① 血栓溶解療法
血栓を溶かす薬を点滴し、血流を回復させる治療法
- ② 血管内治療
血管に細い管を入れて血栓を取り出し、血流を回復させる治療法

治療後

脳梗塞は再発する可能性が高い病気です。再発予防薬を規則的に内服しましょう。脳梗塞の症状に気がいたらすぐに病院を受診して早期診断、早期治療を心がけましょう。

脳梗塞の主な原因は、動脈硬化と心臓病です。

脳梗塞の発症を防ぐにはバランスの取れた食事、定期的な運動習慣、血圧管理や禁煙などが大切です。ご自身の生活が脳梗塞の発症リスクを高めていないかどうか、生活習慣を一度見直して見ましょう。